

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310012007	生活学概論 Theory of Lifology	長拓実		共通	2	必修	1後期
科目の概要							
この科目は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かしてこどもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てることによって、人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成のために、特に生活学に基盤を置いた科目である（DP②）。							
この科目は、生涯学習 学修を通して、衣食住に関する知識・技能を習得するだけでなく、自身や他者のこれからの生活に活用する方法を検討することを目的としている。							
学修内容				到達目標			
① 衣食住に関する様々な知識・技能を獲得する。 ② 獲得した知識・技能を活用して、自身や他者の生活に活用する方法を検討する。 ③ 衣食住にまつわる諸問題について、どのような解決方法があるかを考察する。				① 衣食住に関する様々な知識・技能を獲得することができる。 ② 獲得した知識・技能を活用して、自身や他者の生活に活用する方法を検討することができる。 ③ 衣食住にまつわる諸問題について、その解決方法を提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。					
考え抜く力	課題発見力	事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。					
	傾聴力	他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しません。プリントを配布します。 参考文献：保育所保育指針・幼稚園教育要領							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「生活学概論」は学部共通科目の教養分野に配置されている。 資格との関連：保育士資格							
学修上の助言				受講生とのルール			
・学修内容に関して、分からないことや疑問に思ったことがあればオフィスアワーに研究室へ来ること。				・遅刻は授業開始後20分以内とする。 ・欠席した場合は、後日研究室へ来て資料や課題等を受け取ること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	60	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業ごとに提出するPCRシートを評価する。 ・学修した知識・技能を活用し作成した食事改善レポートを評価する。 ・レポートの書き方などは授業時に指示するため、指定の書式を用いること。
			②	✓		
③			✓			
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・発表資料および発表時の様子を評価する。 ・生活学に関して学んだ内容から、自身が興味・関心を持ったことをテーマとして設定し、様々な諸問題について分析し、自分なりの解決方法を発表を行う。 	
			②	✓		
			③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性） 到達目標を達成するという目標に向かって指示が無くても、課題を自ら見つけて取り組むことができる。 （実行力） 課題を仕上げるための手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。 （課題発見力） 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力） 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。 （発信力） 整理した内容を的確なことばや文章で表現できる。 （傾聴力） 他者の意見を確認し、さらに自分の意見を述べることができる。 （規律性） 遅刻、居眠り、私語、など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物を期限内に提出することができる。 	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S：レポート課題において、自身が興味関心を持った衣生活・食生活・住生活に関するテーマについて十分に理解し、これらを論理的に説明し、自分の考えを具体的に述べるができる。また、PCRシートの評価及びグループワークのプレゼンテーションの内容が際立って優れている。</p> <p>A：レポート課題において、自身が興味関心を持った衣生活・食生活・住生活に関するテーマについて理解し、これらを論理的に説明し、自分の考えを具体的に述べるができる。また、PCRシートの評価及びグループワークのプレゼンテーションの内容が優れている。</p>	<p>B：レポート課題において、自身が興味関心を持った衣生活・食生活・住生活に関するテーマについて理解し、これらを抽象的に説明したうえで、自分の考えを具体的に述べることができる。また、PCRシートの評価及びグループワークのプレゼンテーションの内容が良い。</p> <p>C：レポート課題において、自身が興味関心を持った衣生活・食生活・住生活に関するテーマについて理解し、これらを説明したうえで、自分の考えを具体的に述べることができる。また、PCRシートの評価及びグループワークのプレゼンテーションの内容が良い。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 食事の役割	講義	本科目の学修到達目標が理解できる。 食事の役割について基礎的な内容を理解している。	(予習) 食事の役割についてインターネットを用いて調べる。 (復習) 様々な食事の役割のうち、自身が興味関心を持った内容を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	三大栄養素の働き	講義 グループワーク	三大栄養素の働きの基本的な内容について理解することができる。	(予習) 小学校・中学校・高等学校の時に使用した家庭科の教科書を読み、三大栄養素の働きについて調べる。 (復習) 学修内容のうち、一つを選んで自分の生活で実践し、ワークシートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	無機質とビタミンの働き	講義 グループワーク	無機質とビタミンの働きの基本的な内容について理解することができる。	(予習) 小学校・中学校・高等学校の時に使用した家庭科の教科書を読み、無機質とビタミンの働きについて調べる。 (復習) 学修内容のうち、一つを選んで自分の生活で実践し、ワークシートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	日本と世界の食文化	講義 グループワーク	日本と世界の食文化について広く知ることができる。	(予習) 事前に配布する食文化に関するワークシートの問いについて調べてくる。 (復習) ワークシートに食文化についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	食事改善のためのレポート作り①	講義 個別学修	食事改善のためのレポート作りのための大きな流れを考えることができる。	(予習) 自身または家族などの食生活の課題を複数見つけてくる。 (復習) レポートの作成をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	食事改善のためのレポート作り②	講義 個別学修	食事改善のためのレポートを概ね作成することができる。	(予習) レポートの作成をする。 (復習) レポートの完成に向けて学修をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	消費生活(契約や消費者トラブル)	講義 グループワーク	契約の仕組みの基本的な内容を説明することができる。 どのような消費者トラブルがあるのか知り、その対処法を一つ挙げることができる。	(予習) 中学校・高等学校の家庭科の教科書を読み、契約や消費者トラブルについて調べる。 (復習) 契約に関する学修内容を整理し、消費者トラブルを防ぐ方法や対処法を考察する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	家計収支の構成	講義 グループワーク	家計収支の構成の基本的な内容を理解することができる。	(予習) 家計簿を1週間分作成する。 (復習) 自身の家計簿を見直し、今後の生活に活用することについてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	家族のライフステージと家計管理	講義 グループワーク	家族のライフステージと家計管理の基本的な内容を理解することができる。	(予習) ワークシート(将来のライフプラン)を作成する。 (復習) 家計管理の1週間実践し、その報告書を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	繊維の特徴	講義 実習 グループワーク	繊維の種類や特徴などを説明することができる。	(予習) 自分が普段着ている衣服がどういった繊維で作られているのか調べ、ワークシートにまとめる。 (復習) 学修した繊維から一つ選び、調べ学習を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	衣服の手入れ	講義 グループワーク	衣服の手入れについて基本的なことを理解している。	(予習) 自分が普段着ている衣服についている洗濯表示を確認し、ワークシートにまとめる。 (復習) 学修した手入れ方法から一つ選び、調べ学習を行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	健康・快適・安全な生活のための住まう能力	講義 グループワーク	快適な暮らしのために必要な基本的な内容を理解している。	(予習) 小学校・中学校・高等学校の時に使用した家庭科の教科書を読み、住居に関する内容を調べる。 (復習) 学修内容のうち、自身の生活に活用できるものを選びワークシートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	家庭内事故の予防や自然災害への備え	講義 グループワーク	家庭内事故の予防や自然災害への備えについて、自分なりの考えを持つことができる。	(予習) 自身の家を知らべ、家庭内事故が起こりそうな危険な場所を調べワークシートに記入する。 (復習) 学修内容のうち、自身の生活に活用できるものを選びワークシートにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	発表準備	講義 個別学修 グループワーク	「衣」「食」「住」まつわる諸問題を見つけることができる。	(予習) これまで学修した資料などを見直す。 (復習) 発表資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	オンデマンド：発表(音声入力した)ppを5名分視聴し、コメントをする。また、自身が作成した発表資料を修正し、再提出する。	発表 個別学修	「衣」「食」「住」まつわる諸問題について、その解決方法を提案することができる。	(予習) 発表資料を作成する。 (復習) 他者から指摘されたコメントを整理し、発表資料を修正する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力